

# 女性委員会ページ

## ♪ 近畿ブロック女性委員会の報告

- \* 7月15日 連盟事務所にて各連盟よりの活動報告と情報交換が行われた
- \* 8月26～27日 広島にて近畿ブロック女性交流山行があります

全国の女性委員会が実質活動休止されている中で、女性委員会の活動の再確認も含めた交流会が、広島で行われました。

理事会で何故女性委員会が、交通費まで払い府外の県連と交流するのか???という意見が出されているようです～～♪（主旨が違います。広島で交流する目的は何なのか?という質問でした。交通費まで払いという発言はありません。榎本女性委員長は「全国で女性委員会が活動休止。それで広島も停滞ぎみ。近畿ブロックの女性委員会は活発なのでその内容を学びたいという趣旨で申し入れがあった」と答えられました。全国で女性委員会が休止だという事実はあまり知られていません。広島交流への質問と榎本委員長の答えで全国的な女性委員会の問題点が浮き彫りになりました。高橋明代追記)

女性委員会は、時々女性課題を見つけ、活動に繋げてきた経緯があります。

- ☆ いつまでも登り続けよう・・・結婚しても子どもが出来ても山登り
- ☆ 連れて行ってもらおう登山からの脱皮・・・学んで登ろう・・・今
- ☆ 万が一の事故にも対応できる?・・・貴女もしなければならない搬出技術
- ☆ 事故を起こさない身体づくり・・・山筋ゴーゴー体操冊子に繋がる

そこから課題を見つけ、活動のテーマに繋げてきました。

無駄に見える集まりと会話の中から、課題を分析して活動に繋げてきています。

今、課題となっているのは「女性の転滑落」が多いを活動に繋げ、山筋ゴーゴー体操に至る取組みから更に一歩進み次の課題に向けた活動の展開が要請されています。

過去の女性委員会は、単に自分たちの連盟のみならず、多くの女性たちが抱えている課題を探り、登山の女性の課題とした活動の展開を量り、女性会員の質の向上務めてきています

その一環として、他府県連との交流は大きな原動力となっています。

今、全国連盟に女性委員会が無く・・・漏れ聞こえる声には「男も女もない」というているようであるが、それであればこそ横の繋がりの中で、女性の課題が話し合われる必要があるのでは・・・と考えています。